

2017 年度

地盤品質判定士の検定試験

受験の手引き



地盤品質判定士協議会

※最新版であることを協議会のウェブサイト(<https://www.jiban.or.jp/jage/>)でご確認下さい。

(2017. 4. 3 版)

<目 次>

1. はじめに	1
2. 検定試験のスケジュール	3
3. 受験資格と受験区分	4
4. 受験申込みの手続き	5
5. 検定試験の内容	8
6. 試験当日の留意事項	9
7. 検定試験の日時と受験地	10
8. 合格者の発表	10
9. 地盤品質判定士もしくは地盤品質判定士補の登録手続き	10
10. 登録更新	11
11. その他	12
受験申込み画面入力例	14

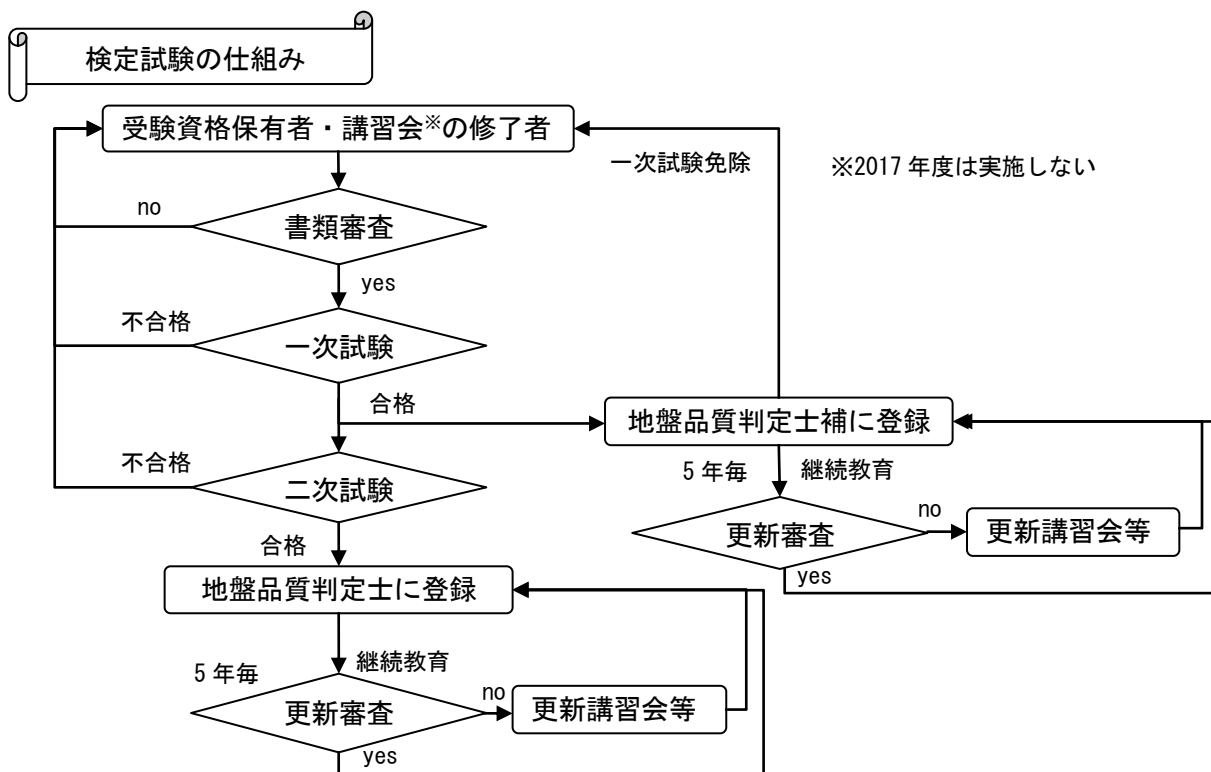
1. はじめに

地盤品質判定士協議会は、2011年春の東日本大震災をはじめ、これまでの地震によって発生した住宅や宅地の被害を教訓として、公益社団法人地盤工学会を代表に、一般社団法人日本建築学会・一般社団法人全国地質調査業協会連合会が発起人となり、住宅や宅地に関する7団体の参画によって2013年2月に発足しました。本協議会では、建築学・土木工学分野や不動産・住宅関連産業等に従事する地盤技術者を対象に、地盤品質判定士の資格制度を創設しました。

この地盤品質判定士の資格制度の目的は、宅地の造成業者、不動産業者、住宅メーカー等と住宅及び宅地取得者の間に立ち、地盤の評価（品質の判定）に関わる調査・試験の立案、調査結果に基づく適切な評価と対策工の提案等を行う能力を有する技術者を社会的に明示することにあります。

この資格制度では、「地盤品質判定士」と「地盤品質判定士補」を設けています。前者は、「地盤の評価（品質の判定）ができる専門的な知識と十分な経験及び高度な技術力を有する者」、後者は「地盤の評価（品質の判定）に必要となる基礎的な知識と経験を有する者」で、検定試験によって認定します。検定試験は、技術者倫理、宅地の造成、土砂災害に関わる法制度、地質・地形・地盤の調査、土砂災害、住宅等（小規模建築物）の基礎、地盤の液状化、盛土・切土と擁壁の安定性、基礎の沈下や傾斜、及び地盤改良といった多岐にわたる基礎的な知識と地盤の評価（品質の判定）に関わる経験及び技術力を確認するものです。

検定試験に合格して登録した者には、「地盤品質判定士」あるいは「地盤品質判定士補」の資格が付与されます。この資格者は、地盤の評価（品質の判定）ができる専門的な知識と経験及び技術力によって、住宅及び宅地の防災・減災を通じて国民の住環境の安全性向上に寄与することが期待されています。なお、資格保有者には、知識及び技術力の維持向上を図るために継続研鑽が要求され、5年毎に更新審査を受けることが必要とされています。



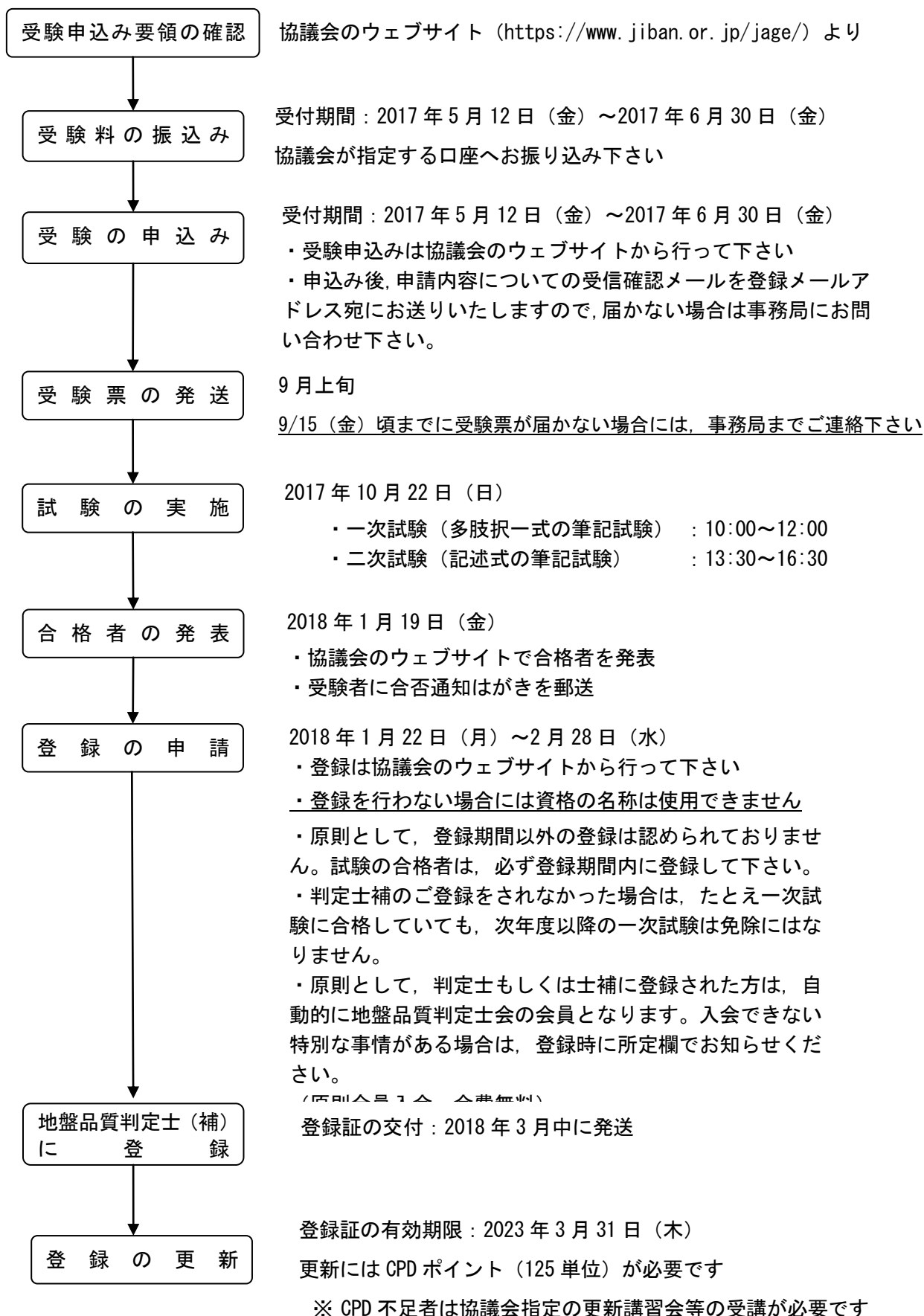
付図1 検定試験の仕組み

2017 年度検定試験の 2016 年度との相違点

付表 1 2017 年度検定試験の 2016 年度との相違点

年度	2016 年度	2017 年度
検定試験日	10/23(10 月第 4 日曜)	10/22(10 月第 4 日曜)
合格発表	1/20(金)	1/19(金)

2. 検定試験のスケジュール



付図2 検定試験のスケジュール

3. 受験資格と受験区分

(1) 受験資格

検定試験を受験するには、受験申込みを行う時点で付表2に示す資格を有していることが必要となります。

付表2 受験要件（受験に必要な資格）

資格の名称	資格区分・分野等	試験の実施機関	資格の認定機関
技術士	建設部門：土質及び基礎	(公社)日本技術士会	文部科学省
	応用理学部門：地質，地球物理及び地球化学		
建築士	一級	(公財)建築技術教育普及センター	国土交通省
	二級，木造	(公財)建築技術教育普及センター	都道府県
不動産鑑定士	—	国土交通省	
土木施工管理技士	一級	(一財)全国建設研修センター	国土交通省
土木学会認定土木技術者	特別上級・上級・一級 (資格分野：地盤・基礎)	(公社)土木学会	
地質調査技士	現場調査部門，現場技術・管理部門，土壌地下水汚染部門	(一社)全国地質調査業協会連合会	
地盤検査技士	一級	(一社)地盤保証検査協会	
住宅地盤主任技士	調査部門，設計施工部門	(NPO)住宅地盤品質協会	
RCCM	地質部門，土質及び基礎部門	(一社)建設コンサルタント協会	

(2) 受験区分

付表3に示すような3つの受験区分があります。区分を1つ選択して下さい。なお，二次試験のみを受験するためには，地盤品質判定士補に登録している必要があります。

付表3 受験区分

受験区分	受験要件（受験に必要な資格）
一次試験のみ受験	付表2の資格
一次試験と二次試験の両方を受験	付表2の資格
二次試験のみ受験	地盤品質判定士補

4. 受験申込みの手続き

(1) 受験申込みの方法

受験申込みは、協議会のウェブサイト (<https://www.jiban.jp/jage/>) の 2017 年度地盤品質判定士検定試験受験申込ページから行って下さい。

(2) 受験申込み手続きで添付が必要な画像データ

受験申込み手続きの際に、添付が必要な画像データは、次の 3 点です。入力前に準備して下さい。

(添付資料 1) 顔写真の画像データ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 点

＊ 試験会場での本人確認に使用する顔写真は、2017 年 4 月 1 日以降に撮影（上半身正面（両肩含む）・無帽背影なしの鮮明なカラー写真）した JPEG の画像ファイル（ファイル名は半角英文字氏名、及びその末尾に 1 を付ける 例 jibantaro1）。

合格時には、登録証カードに使用させていただきます。

(添付資料 2) 受験要件の資格証（有効期限内の登録証もしくは登録証明書）の画像データ… 1 点

＊ 氏名と資格（付表 2 参照）の名称、必要に応じて資格の分野・選択科目等が確認できる書類をスキャンして電子ファイル（ファイル名は半角英文字氏名、及びその末尾に 2 を付ける 例：jibantaro2）を作成して下さい。技術士の場合は登録証には選択科目の記載がないので、登録証ではなく登録証明書を添付して下さい。なお、二次試験のみ受験の方は、登録証データの添付は不要で、地盤品質判定士補の登録番号の入力で代替します。

受験要件（付表 2）に記載の資格を直接証明できる登録証、もしくは登録証明書を添付して下さい。

(添付資料 3) 受験料振込み取扱票の画像データ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 点

＊ 振込日、振込銀行及び支店名、振込口座名義（カタカナ表記）、振込金額が分かる書類（振込み取扱票、振込み用紙、インターネットバンキング振込記録（画面のスクリーンショットでも可）、等）の電子ファイル（ファイル名は半角英文字氏名、及びその末尾に 3 を付ける 例：jibantaro3）を作成して下さい。

(3) 受験申込み入力方法

協議会ウェブサイトから受験申込みの入力を行う際は、以下の要領に従い、入力例を参考にして下さい。

1) 受験申込みについて

- ① 協議会ウェブサイトの 2017 年度地盤品質判定士検定試験受験申込ページ入力フォームから入力して下さい。
- ② 個人情報（氏名、フリガナ、生年月日、性別、連絡用電子メールアドレス）を入力して下さい。 ※共有のメールアドレスや携帯メールアドレスは使用しないで下さい。
- ③ 顔写真（添付資料 1）を添付して下さい。
- ④ 自宅または所属機関の受験票送付先を選択して下さい。

- ⑤ 自宅（現住所等）を入力して下さい。
- ⑥ 現在の所属機関の有無を選択して下さい。
- ⑦ 所属機関有の方は、所属機関の住所・所属機関名・部署名等を入力して下さい。
- ⑧ 受験区分（付表3参照）を選択して下さい。
- ⑨ 受験地を東京・大阪・仙台・福岡の中から選択して下さい。なお、今年は仙台で30名、福岡で50名に満たない場合、第2希望受験地（東京または大阪）へ受験会場を変更してもらう条件での募集となりますので、仙台・福岡での受験を希望される方は、必ず第2希望受験地（東京または大阪）を選択して下さい。仙台と福岡受験希望者数は、協議会ウェブサイト上に公表致します。
- ⑩ 保有している資格を全て選択して下さい。
- ⑪ 一次試験のみ受験、および一次試験と二次試験の両方を受験されるは、添付する資格証の資格名を選択し、資格証の電子ファイル（添付資料2）を添付して下さい。
- ⑫ 二次試験のみ受験の方は、資格証の添付は不要で、地盤品質判定士補の登録番号を入力して下さい。
- ⑬ 振込内容（銀行名と支店名、振込口座名義（カタカナ）、振込日）を入力して下さい。振込額は、⑧の受験区分の選択によって自動表示されますので、額をご確認ください。
- ⑭ 振込票等の画像ファイル（添付資料3）を所定欄に添付して下さい。
- ⑮ 事務局への連絡事項等（例えば、引っ越し予定等）がありましたら、備考欄に簡潔に記載して下さい。
- ⑯ 必要項目の入力が終わりましたら、念の為控を印刷（pdf等でも可）して保管するようにして下さい。
- ⑰ 入力フォームの印刷後、入力内容に修正がなければ、「上記、受験申込内容を確認しました。」のチェック欄にチェックをつけてから、「受験申込」ボタンをクリックしてください。
- ⑱ 事務局から受験申込受理メールが自動送信されます。
- ⑲ 受験申込後は「受験申込確認ページ」で申込内容の閲覧、修正ができます。氏名（フリガナ）と生年月日で検索できます。事務局からの受験申込受理メールが届かない場合は、「受験申込確認ページ」でメールアドレスをご確認ください。

2) その他

- ① 資格証（添付資料2）の有効期限が切れている場合、受験申込みを受理することができません。
- ② 受験申込み内容に不備があると、事務局から連絡させていただき、修正をお願いする場合がありますので、申し込みは余裕を持って早めに行ってください。

(4) 受験申込みの受付期間

2017年5月12日（金）～2017年6月30日（金）

(5) 受験料

1) 受験料

受験料は、受験区分で異なります。付表4で確認して下さい。

付表4 受験区分と受験料

受験区分	受験料
一次試験のみ受験	10,000 円 (税込)
一次試験と二次試験の両方を受験	17,000 円 (税込)
二次試験のみ受験	13,000 円 (税込)

2016 年度より変更

2) 振込み先

受験料は、協議会が指定する口座（付表5参照）へお振り込み下さい。

付表5 振込み先

銀行名 支店名	口座
みずほ銀行 駒込支店	普通預金 1203950 地盤品質判定士協議会

3) 振込み手続きについて

- ① 振込み手続きは、銀行・郵便局備え付けの振込み用紙を使用して、必要事項を記入の上、振込みをして下さい。
- ② インターネットバンキング等による振込みも可能です。
- ③ 振込み手続きの際、振込み依頼人名は受験者氏名で記入（入力）して下さい。なお、事情により振込み依頼人名が受験者名と異なる場合、備考欄に実際の振込み依頼人名をカタカナで記入して下さい。
- ④ 振込み手続きは1名毎を原則とします。
- ⑤ 送金手数料は受験者側のご負担でお願いします。
- ⑥ 受験料の納付は、原則として現金での取扱をいたしません。
- ⑦ 受領した受験料は、原則としてご返金いたしませんのでご了承願います。
- ⑧ 受領した受験料の領収書は、受験料振込み取扱票の控えをもって替えさせていただきますのでご了承願います。
- ⑨ 受験料は、受験区分によって異なりますので、確認の上、お振り込み下さい。

5. 検定試験の内容

試験は10時～12時（120分）の一次試験と13時30分～16時30分（180分）の二次試験の2段階で行います。一次試験は多肢択一式の筆記試験で、二次試験は記述式の筆記試験です。

（1）一次試験

＜多肢択一式の筆記試験＞

一次試験は、地盤の評価（品質の判定）に必要な基礎的な知識とその応用力を有することを確認する目的で実施します。

多肢択一のマークシート式で、全体で50問を出題します。

試験問題は、技術者倫理、宅地の造成・土砂災害に関わる法制度、地質・地形・地盤の調査・土砂災害、住宅等（小規模建築物）の基礎、地盤の液状化、盛土・切土と擁壁の安定性、地盤改良、の7区分とします。

配点は100点満点とし、各問題の区分と内容の目安は以下とします。

付表6 一次試験問題の区分と内容の目安

問題の区分	内容（*1）
技術者倫理	技術者の行動規範
宅地の造成、 土砂災害に関わる法制度	宅地の造成・取引と法制度 盛土・切土、擁壁、締固め 土砂災害防止法等の法令
地質・地形・地盤の調査、 土砂災害	地質と地質調査、地形と地形判読 地盤調査 サンプリングと地盤材料試験 地すべり、土石流、がけ崩れ
住宅等（小規模建築物）の基礎	直接基礎、杭基礎 基礎の支持力と沈下
地盤の液状化	地震と地震動 液状化のメカニズム 液状化の予測と判定方法
盛土・切土と擁壁の安定性	擁壁の支持力と安定・土圧 斜面安定、安定解析の方法 盛土による沈下の予測方法
地盤改良	液状化対策 沈下対策 すべり対策

*1：項目列挙です。記された範囲に限定されるものではありません。

(2) 二次試験

<記述式の筆記試験>

二次試験の内容は、地盤の評価（品質の判定）を適正にできる十分な経験と技術力を有することを確認する目的で実施します。

試験の区分は、①地盤の液状化 ②基礎の支持力と沈下 ③盛土・切土と擁壁の安定性 の3区分で、区分毎に設問1題、合計3題、とします。また、各設問内には3つの小問を設けます。

記述式の筆記試験では、1題につき合計で1,000字程度（図表は別途）の設問を3題出題します。

配点は設問1題につき50点、計150点満点とします。なお、小問ごとの図表記載欄に【任意】もしくは【必須】と明示し、【必須】と明示された小問では、解答した図表が採点上重視されます。【任意】と明示された小問では、記載した図表がプラス点になることはあっても、図表を記載しないことでマイナス点となることはありません。

(3) 合否の判定基準と登録

一次試験（多肢択一式）では、地盤の品質の評価に必要な基礎的な知識と経験を有しているかどうかを確認します。

二次試験（記述式）では、地盤の品質を適正に評価できる専門的知識と十分な経験及び高度な技術力を有しているかどうかを確認します。

地盤品質判定士を名乗るには、二次試験に、地盤品質判定士補を名乗るには、一次試験にそれぞれ合格した上で登録していることが必要です。なお、地盤品質判定士補の方が二次試験に合格して地盤品質判定士に登録すると、地盤品質判定士補の登録は末梢されます。

6. 試験当日の留意事項

- (1) 受験者は、一次試験開始の15分前（9時45分）、二次試験開始の15分前（13時15分）までに試験場に到着し、受験番号を受験票で確認して、指定の試験室へ入室して下さい。
- (2) いずれの試験も試験開始後30分、試験終了前30分の退出はできません。交通機関遅延等のやむを得ない事情による場合には、試験開始後30分までは入室を認めますので、試験監督員の指示に従って下さい。
- (3) 受験票は、試験当日必ず持参し、試験監督員の指示に従い提示して下さい。万が一、受験票を紛失または忘れた場合は、試験事務局にお問い合わせ下さい。
- (4) 試験当日は、次の携行品を持参して下さい。なお、試験時間中は、下記の携行品以外は机の上に置いてはいけません。
受験票・HB以上の鉛筆またはシャープペンシル・消しゴム・定規（直・三角・他）・時計（通信機能のないもの）・ハンカチ・ティッシュ・目薬・ペットボトル（水筒は不可、カバーはなし）
- (5) 携帯電話やアラーム音等の音の出る機器は、試験場へ入室する前に必ず設定を解除し、電源を切して下さい。

(6) 試験当日は、各試験会場の試験監督員の指示に従って下さい。なお、次の行為を行った場合、不正行為として即刻試験を中止させ退場させる場合があります。

- ・試験時間中に、携帯電話や時計等の音（着信、時報、アラーム、振動音等）を鳴らすこと
- ・試験監督員の指示に従わないこと
- ・試験進行の妨げとなる行為
- ・他の受験者の迷惑となる行為
- ・カンニング等の試験の公平性を損なう行為

7. 検定試験の日時と受験地

(1) 日時

- ・一次試験（多肢択一式の筆記試験）

2017年10月22日（日） 10時00分～12時00分

- ・二次試験（記述式の筆記試験）

2017年10月22日（日） 13時30分～16時30分

(2) 受験地

東京・大阪・仙台・福岡（仙台・福岡※）

試験会場は、東京都内、大阪府内、仙台市内、福岡市内の4会場を予定しています。

※ 但し、仙台と福岡については、所定の出願者数〔仙台は30名、福岡は50名〕に達しなかった場合は、出願時に選択した第2希望受験地（東京・大阪）に変更することを条件の募集となります。

8. 合格者の発表

合格発表日 2018年1月19日（金）

協議会ウェブサイトにて、合格者の受験番号を掲載します。

受験者には、「合否通知」はがきを同日郵便にて発送しますので、お手元に届くのは数日後となります。

9. 地盤品質判定士もしくは地盤品質判定士補の登録手続き

「地盤品質判定士」もしくは「地盤品質判定士補」となるには、検定試験に合格した後、協議会が管理する登録簿に登録されることが必要です。

登録手続きは、協議会ウェブサイトに掲載する「資格登録申請について」に従って登録手数料を振込後に協議会ウェブサイト上で行って下さい。登録料は、地盤品質判定士が13,000円（税込）、地盤品質判定士補が10,000円（税込）です。登録が完了後、「地盤品質判定士」もしくは「地盤品質判定士補」の登録証（証書とカード）を交付します。2017年度登録者の登録証の発送は2018年3月

中を予定しています。

登録者は、地盤品質判定士等の氏名、所属機関名、登録番号、登録証の有効期限等について、協議会のウェブサイトに掲載します。ただし、氏名、所属機関名の掲載を本人が希望しない場合には非公開としますので申請時に申出て下さい。

登録申請期間は、2018年1月22日（月）～2月28日（水）です。

また、登録後に虚偽または不正の事実が確認された場合、資格は取り消されます。

※原則として、登録期間以外の登録は認められておりません。試験の合格者は、必ず登録期間内に登録して下さい。

※判定士補のご登録をされなかった場合は、たとえ一次試験に合格していても、次年度以降の一次試験は免除にはなりません。※原則として、登録期間以外の登録は認められておりません。試験の合格者は、必ず登録期間内に登録して下さい。

※判定士補のご登録をされなかった場合は、たとえ一次試験に合格していても、次年度以降の一次試験は免除にはなりません。

なお、2015年2月2日の理事会で地盤品質判定士会（以降、判定士会と略記）の設置が承認されました。

判定士会は、住宅及び宅地の防災及び国民の安全に貢献するために、会員の技術の研鑽とモラルの向上、ならびに社会への啓発を図ることを目的に、協議会内に設置した判定士会運営幹事会を中心に、協議会の関連委員会等と協力しながら主に下記の事業や活動を行います。

- (1) 地盤品質判定士等の知識と技術力の維持向上に必要な施策の実施
- (2) 地盤品質判定士等の業務と活用などの推進
- (3) その他、目的達成に関して必要な事項

原則として、判定士もしくは士補に登録された方は、自動的に地盤品質判定士会の会員となります。当面は会費無料の予定です。入会できない特別な事情がある場合は、登録時に所定欄でお知らせください。

10. 登録更新

地盤品質判定士ならびに地盤品質判定士補の登録証の有効期限は、検定試験に合格した年の年度末から5年後の年度末迄です。従って、2017年度の検定試験に合格して登録された方の有効期限は2023年3月末となります。

地盤品質判定士等の有資格者は、新しい知識と技術を継続的に身に着けることを条件として、5年毎に所定の登録更新手続きを行うことによって登録更新することができます。登録更新料は、地盤品質判定士が13,000円（税込）、地盤品質判定士補が10,000円（税込）の予定です。

地盤品質判定士等の登録更新には、自己研鑽(継続教育)を実施して、CPDポイントを合計125単位取得しておく必要があります。

なお、登録有効期限迄に所定のCPD単位を取得できないで登録更新を希望する場合には、協議会が指定する更新講習会等を受講・修了する必要があります。

11. その他

- (1) 受験申込み後、所属機関（会社等）、自宅住所、氏名に変更があった場合は、協議会の事務局まで連絡して下さい。
- (2) 受験票は、2017年9月上旬に郵送します。
受験票が9月15日（金）までに届かない場合は、協議会の事務局まで連絡して下さい。
jage3@jiban.or.jp
- (3) 入力終了後の受験申込み確認画面は、本人控え用に、必ずコピーして保管しておいて下さい。
- (4) 主な参考図書例を付表7、付表8に示します。必ずしも出題範囲を示すものではありませんが参考にご活用下さい。

付表7 主な参考図書例の紹介

書籍名	著者・編者名	発行所	発行年月日
地盤品質判定士倫理綱領及び同解説	地盤品質判定士協議会	同協議会 Web-site	2014. 2
宅地地盤調査マニュアル 2014	全地連	全地連	2014. 4
宅地防災マニュアルの解説	宅地防災研究会	ぎょうせい	2007. 12
地盤調査の方法と解説	地盤工学会	地盤工学会	2013. 3
建築基礎構造設計指針	日本建築学会	日本建築学会	2001. 10
小規模建築物基礎設計指針	日本建築学会	日本建築学会	2008. 2
建築基礎設計のための地盤調査計画指針	日本建築学会	日本建築学会	2009. 11
土砂災害防止法の概要	国土交通省	国土交通省 Web-site	更新情報
大規模盛土造成地の変動予測調査ガイドラインの解説	国土交通省	国土交通省 Web-site	2008. 2
2015年版 建築物の構造関係技術基準解説書	国土交通省国総研・他	全国官報販売協同組合	2015. 6
改訂版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針	日本建築センター	日本建築センター	2012. 11

付表8 その他の参考図書例の紹介

書籍名	著者・編者名	発行所	発行年月日
地盤工学用語辞典	地盤工学会	地盤工学会	2006. 3
君ならどうする？ (建設技術者のための倫理問題)	地盤工学会	地盤工学会	2003. 6
土木技術者倫理問題-考え方と事例解説II-	土木学会	土木学会	2010. 6
役立つ!!地盤リスクの知識	地盤工学会	地盤工学会	2013. 4
宅地造成等規制法の解説	宅地造成等規制法研究会	ぎょうせい	2007. 5
宅地耐震設計マニュアル ※非売品	UR 都市機構	—	2008. 4
ボーリングポケットブック第5版	全地連	全地連	2013. 9
地盤材料試験の方法と解説	地盤工学会	地盤工学会	2009. 12
住宅地盤調査の基礎と実務	住宅地盤品質協会	住宅地盤品質協会	2014. 9
地盤改良の調査・設計と施工 一戸建て住宅から人工島まで	地盤工学会	地盤工学会	2013. 4
実務者のための戸建て住宅の地盤改良・補強工法 考え方から適用まで	日本材料学会	オーム社	2010. 2
液状化から戸建て住宅を守るための手引き	地盤工学会関東支部	地盤工学会関東支部	2013. 5.
入門シリーズ 35: 地盤・耐震工学入門	地盤工学会	地盤工学会	2008. 7
地震による液状化とその対策	関東地質調査業協会	オーム社	2012. 9
液状化対策工法	地盤工学会	地盤工学会	2004. 9
知っておきたい斜面のはなし-斜面と暮らす	土木学会	土木学会	2005. 12
家族を守る斜面の知識	土木学会	土木学会	2009. 10
日本ってどんな国豪雨から国土を守る	全地連	全地連	2011. 5
道路土工 擁壁工指針	日本道路協会	日本道路協会	2012. 7
道路土工 軟弱対策工指針	日本道路協会	日本道路協会	2012. 8
地山補強土工法設計・施工マニュアル	地盤工学会	地盤工学会	2011. 9

注) 出題範囲を上記の参考図書に限定していません。

受験申込み画面入力例

2017年度地盤品質判定士検定試験受験申込ページ

【入力時の注意事項】

- ◆キーボードのTABボタンあるいはマウスのクリックで、入力欄を選択してください。
入力後にENTERキーを押すと、必須入力チェック機能が作動し、未入力欄にチェックバレーンが表示されます。チェックバレーンは必要事項を入力するか、バレーンをクリックすると表示が消えます。
- ◆入力終了後は、入力内容（誤字、脱字、画像添付など）に間違いがないかを確認して、「この画面を印刷する」ボタンをクリックし、印刷してください。その次に、「上記、受験申込内容を確認しました。」のチェック欄にチェックをつけてから、「受験申込」ボタンをクリックしてください。
- ◆事務局から受験申込受理メールが自動送信されます。
- ◆受験申込後は「受験申込確認ページ」で申込内容の閲覧、修正ができます。氏名（フリガナ）と生年月日で検索できます。事務局からの受験申込受理メールが届かない場合は、「受験申込確認ページ」でメールアドレスをご確認ください。
- ◆自動表示される「年齢」と「振込金額」は確認画面では非表示です。
- ◆受験申込ページの入力途中で、ブラウザを閉じた場合、それまでの入力内容が消去された場合は、再度、入力をお願いします。

氏名（漢字・英字）※必須	姓： <input type="text" value="地盤"/>	名： <input type="text" value="太郎"/>	(例：地盤太郎)
氏名（フリガナ）※必須	セイ： <input type="text" value="ジバン"/>	メイ： <input type="text" value="タロウ"/>	(例：ジバンタロウ)
生年月日 ※必須	<input type="text" value="1970年(昭和45年)"/> ▼ <input type="text" value="1"/> ▼ 月 <input type="text" value="1"/> ▼ 日	(例：1970年1月1日)	
	年齢：※ここに自動表示されます	(2017年10月22日時点満年齢)	
性別	<input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女		
連絡用メールアドレス※必須	<input type="text" value="abc@xyz.co.jp"/>		
顔写真画像 (添付資料1) ※必須	<input type="text" value="ファイルを選択"/> <input type="text" value="jibantaro1.jpg"/>	※ファイル名は半角英字氏名に1を追記してください (例：jibantaro1.jpg)	
	(2017年4月1日以降撮影のもの)		

受験票送付先※必須 自宅（現住所） 所属機関

【自宅（現住所）は受験者全員が必須入力です】

郵便番号 〒	<input type="text" value="812"/> <input type="text" value="-0000"/>	(半角数字)
	※郵便番号を入力すると自動的に住所が表示されます。(例：812-0000)	
都道府県	<input type="text" value="福岡県"/>	(例：福岡県)
市区	<input type="text" value="福岡市博多区"/>	(例：福岡市博多区)
町村字等	<input type="text" value="安心地形町"/>	(例：安心地形町)
丁目、番地等	<input type="text" value="1-2-3"/>	(例：1-2-3)
マンション名等	<input type="text" value="地盤ハイツ123号室"/>	(例：地盤ハイツ123号室)
電話番号	<input type="text" value="092"/> <input type="text" value="-123"/> <input type="text" value="-4567"/>	(例：092-123-4567)

※自宅（現住所）を受験票送付先に選択した方で現在、所属機関が無い方は下記の所属機関有無欄で「所属機関無」を選択してください。

所属機関有無

所属有 所属無

【所属機関を受験票送付先に選択した方は必須入力です。】

郵便番号	<input type="text" value="812"/> - <input type="text" value="0000"/>	※郵便番号を入力すると自動的に住所が表示されます。(例：812-0000)
都道府県	<input type="text" value="福岡県"/>	(例：福岡県)
市区	<input type="text" value="福岡市博多区"/>	(例：福岡市博多区)
町村字等	<input type="text" value="良質地盤町"/>	(例：良質地盤町)
所属機関 ※所属機関有の方 は必須	丁目、番地等	<input type="text" value="1-2-3"/> (例：1-2-3)
	建物名等	<input type="text" value="地盤ビル3階"/> (例：地盤ビル3階)
	所属機関名	<input type="text" value="地盤品質調査株式会社"/> (例：地盤品質調査株式会 社)
	部署名	<input type="text" value="九州支店地盤部調査課"/> (例：九州支店地盤部調査課)
	電話番号	<input type="text" value="092"/> - <input type="text" value="234"/> - <input type="text" value="5678"/> (例：092-234-5678)

受験区分 ※必須

一次試験のみ受験 一次試験と二次試験の両方を受験 二次試験のみ受験

受験地 ※必須

- 東京
 大阪
 仙台 (第2希望受験地：東京) 仙台 (第2希望受験地：大阪)
 福岡 (第2希望受験地：東京) 福岡 (第2希望受験地：大阪)

【受験者全員が必須入力です。】

※保有している資格を選択してください。(複数選択可)

	<input checked="" type="checkbox"/> 技術士(建設：土質及び基礎) <input type="checkbox"/> 技術士(応用理学：地質) <input type="checkbox"/> 技術士(応用理学：地球物理及び地球化学)
	<input checked="" type="checkbox"/> 一級建築士 <input type="checkbox"/> 二級建築士 <input type="checkbox"/> 木造建築士
	<input type="checkbox"/> 不動産鑑定士
	<input checked="" type="checkbox"/> 一級土木施工管理技士
保有している資格の名称	<input type="checkbox"/> 土木学会認定土木技術者(特別上級：地盤・基礎) <input type="checkbox"/> 土木学会認定土木技術者(上級：地盤・基礎)
※必須(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 土木学会認定土木技術者(一級：地盤・基礎)
	<input type="checkbox"/> 地質調査技士(現場調査) <input type="checkbox"/> 地質調査技士(現場技術・管理) <input type="checkbox"/> 地質調査技士(土壌地下水汚染)
	<input type="checkbox"/> 地盤検査技士(一級)
	<input type="checkbox"/> 住宅地盤主任技士(調査) <input type="checkbox"/> 住宅地盤主任技士(設計施工)
	<input type="checkbox"/> R C C M(地質) <input type="checkbox"/> R C C M(土質及び基礎)

【一次試験のみ受験者】及び【一次試験と二次試験両方の受験者】対象

※上記保有資格の中で受験資格を有するために必要な資格を1つ選択し、登録証又は登録証明書画像を添付してください。

また、添付した登録証(登録証明書)画像の受験資格名を選択してください。

登録証画像	<input type="button" value="ファイルを選択"/> jibantaro2.jpg
(添付資料2) ※必須	※ファイル名は半角英字氏名に2を追記してください(例：jibantaro2.jpg)
	※添付した登録証(登録証明書)画像の受験資格名を選択してください。
	<input type="text" value="一級建築士"/>

【二次試験のみ受験者】（地盤品質判定士補）対象

※保有資格の登録証または登録証明書の添付は不要です。

「地盤品質判定士補合格から3年以内」の方は下記四角枠をクリックして、
登録番号入力欄に登録番号をご記入ください

地盤品質判定士補登録番号 「地盤品質判定士補合格から3年以内」確認欄

登録番号入力欄

第 - - 号 (例：第213-9999-1号)

振込月日 6 月 1 日 (例：6月1日) 振込金額 (自動表示)

受験料振込日等※必須

振込金融機関名 (例：博多銀行) 振込金融機関支店名 (例：福岡支店)

博多銀行 福岡支店

振込名義人 (カタカナ) ※確認画面から戻った時に振込金額が表示されていない場合は受験区分を再度選択して下さい。

シバントロウ

受験料振込み取扱票画像

ファイルを選択 jibantaro3.jpg

(添付資料3) ※必須 ※ファイル名は半角英数字に3を追記してください (例：jibantaro3.jpg)

備考 (連絡事項)

8月頃に自宅の転居予定があります。転居先は後日、事務局にお知らせします。

(例：8月頃に自宅の転居予定があります。転居先は後日、事務局にお知らせします。)

上記、受験申込内容を確認しました。

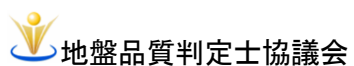
送信前にご確認下さい！

- 受験地は確認しましたか？
※受験申込み後、受験地の変更はできません。
- 入力内容の漏れ、誤字、脱字はありませんか？
- 添付資料はすべて揃っていますか？ (5頁～6頁参照)
- 受験区分・受験料に間違いはありませんか？ (4頁～7頁参照)
- 受験申込みの最終画面の控えをとりましたか？

検定試験に関するお問い合わせ先

TEL : 03-3946-8766 (協議会の事務局)

協議会のウェブサイト (<https://www.jiban.or.jp/jage/>) をご覧下さい



〒112-0011 東京都文京区千石 4 丁目 38 番 2 号

(公益社団法人地盤工学会内)

TEL:03-3946-8766 FAX:03-3946-8678

E-mail : jage3@jiban.or.jp

(2017. 4. 26 版)